

『未来へつなぐ』

同窓会長 内山 登

和気閑谷高校の350余年の歴史を受け、今、我々はこれを“未来へつなぐ”という大きな役目を担っています。

「伝統は革新の連続の上に成る。」という言葉が示すように、我々は時代の変化に適切に対応して、次の伝統や歴史をつむいでいかねばなりません。

高校再編問題も、その一つです。

- ・学区の変更（東備学区から全県学区へ）
- ・全国公募枠を倍増して、24名に。
- ・和気町当局の協力により、新たな寮が来春、完成予定。
- ・閑谷學のさらなる深化。

といった展開が予定されています。

新たな歴史をつむぐべく、同窓会も鋭意努力を続けて参ります。

同窓生の皆様、御支援の程よろしくお願いいたします。



「和気閑谷経済クラブ」会長交代

このクラブは経済界で活躍されている同窓会員の皆様により運営されております。

この度、清水会長が体調不良の為、（株）ウエストホールディングス代表取締役会長の吉川隆様に、会長をお引き受けいただくこととなりました。

引き続き母校の御支援をお願いし、会員皆様の御発展をお祈りいたします。

新会長あいさつ

和気閑谷経済クラブ会長 吉川 隆

同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、清水富江様の後を引き継ぎ、和気閑谷経済クラブ会長を引き受けることになりました。会員相互の連携と助け合いを図り、母校の発展に寄与できるよう尽力させていただきます。今後共、皆様の御協力、御支援をよろしくお願いいたします。

校長あいさつ

校長 赤松 一樹

岡山県立和気閑谷高等学校同窓会の皆様におかれましては、御清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素から本校教育活動の充実と発展に格段の御理解と御支援を賜り厚く御礼申し上げます。

渋沢栄一、津田梅子、北里柴三郎。経済や教育、医学の分野で日本の近代社会を築いてきた三人の肖像が、新しい日本のお札の顔となりました。新しい紙幣は、高精細なすき入れや3Dホログラムなど、高度な偽造防止が施され、ユニバーサルデザインを取り入れた世界に類を見ない最先端の技術が集積されているそうです。

いつも何気なく使っているお金ですが、その歴史を調べてみると、約1300年前、飛鳥時代の富本銭が通貨の始まりのようです。日本銀行が明治18(1885)年に最初のお札を発行してからでも140年近くが経ちます。紙幣や硬貨は長い年月にわたり、お金としての役割を変えず果たす一方で、その時代ごとに新たな技術を取り入れて進化してきたことを改めて知りました。

鴨長明の「方丈記」は次のように書き始められています。

ゆく河の流れは絶えずして、しかも、もとの水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは、かつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたる例(ためし)なし。世の中にある人と栖(すみか)と、またかくのごとし。

流れていく川の水は途絶えることなく、それでいてその川の流れをなしている水は刻々と移ってもとの水ではない。人の世の姿は大局的にみれば変わらず不変であるが、個々の姿は異なり無常であると言っています。

この部分を読むと、毎年、新入生を迎え、育て、そして卒業生を社会に送り出す学校のことを言っているかのように感じます。不易流行という言葉もありますが、時代が変わろうとも変えてはいけないことがある一方で、積極的に変わり続けな

ければ発展はないとの戒めでもあらうと思います。

本校は、閑谷学校創学から354年を数え、諸先輩方が紡いでこられた閑谷精神を大切にしながら今を迎えています。

今年は106名の新入生を迎えて新学期をスタートし

ました。平成30年度から始めた全国募集では、北海道、東京、京都、大阪、兵庫から6名が入学しました。本校では、地域で活躍し、社会に貢献する生徒を育てたいと、地域をフィールドに地域で探究する学びに力を入れています。同窓の皆様や地域の方々に協力をいただき、事業所で職業体験実習をさせていただいたり、地域の自然や文化等を学ばせていただいたりするなかで、生徒が大きく成長していることを感じます。

地元、和気町からは本校の教育活動を力強く支援いただいています。このたび、全国から集まった生徒が生活する場として和気町地域学習交流センターを新築してくださることとなり、来春の完成を目指して工事が始まりました。

また、これまで地域をフィールドとした探究活動や国際理解教育等の分野で、環太平洋大学から支援や協力をいただいていたことが、教育交流をいっそう推進しようと令和6年7月に環太平洋大学と教育連携協定を締結しました。

生徒が生き生きと学び、一人一人が輝いて地域から信頼される学校となりますよう、これからも教育活動の魅力充実にいっそう取り組んで参ります。

同窓会の皆様には、本校の教育活動に更なる御理解と御支援をお願い申し上げますとともに、同窓会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝をお祈りして、御挨拶とさせていただきます。



学校の近況報告

コロナ禍明け、ポストコロナ時代の 和気閑谷高校の学び

教頭 服部 功

令和5年5月、新型コロナウイルスが第5類に移行され、学校生活は徐々にコロナ前の姿を取り戻しつつあります。一方で、コロナ禍の経験からコロナ禍以前の取り組みは様々な見直しが必要となるとともに、オンライン授業や会議、ICTを活用した授業展開や情報共有はもはや欠かすことのできないツールとなっております。時代はコロナ禍が去りポストコロナ時代に移行されました。

さて、その中で和気閑谷高校では、対面での国際交流を再開したり、在校生が出席して全校での唱歌を入れての卒業証書授与式を挙行したりと、実体験を伴った教育活動が再開されました。そこには、コロナ以前には見られなかったマスク姿も多く見られますが、コロナ禍とは大きく違った「はじける笑顔」と「歓声」が学校に戻ってきました。ここでは、昨年後半からの学校生活について写真を交えて近況を紹介します。

○楷楓祭

300名を超える外部の来訪者を迎えて賑やかな楷楓祭が戻ってきました。テーマは『でえれえ、わっけえ』。コロナが明け「和気」の「若え力」をはじけさせようとの思いが込められました。9/30(金)の文化の部では、1年生はステージ発表、2年生は展示、3年生の物品販売では飲食も可となり会場はテーマのとおり「わっけえ力」がはじけました。10/2(月)には晴天のもと体育の部を行い学校全体が一つになりました。



○修学旅行

10/24(火)～27(金)3泊4日の日程で関東方面を訪問しました。探究的学習・研修を主たる目的として、班別自主研修やコース別探究学習をメインに2日間を過ごし、3日目の楽しみにしていた東京ディズニーリゾートは晴天で丸一日を満喫しました。最終日はカップヌードルミュージアムを見学し、安藤百福氏の「世の中を明るくする仕事」を追求した確固たる信念やベンチャー精神を学びました。



○生徒の活躍いきいきと

地域と連携した協働的な探究活動は、本校の生徒の成長を後押しする中心的な活動の一つとなっています。それは単なる作業体験ではなく、たとえば、徳永こいのぼりでの就業体験では、和気神社ののぼり旗を企画制作し実際に納品しました。また、NCブレコンでの就業体験では、会社のラジオCMを作成・録音し実際にFM岡山で毎週オンエアされました。その他にも、和気町役場、赤磐市役所、和気町商工会など地域の方々の力を借



りて様々な体験活動を通して経験と実力を養っており、この探究活動は卒業年次の進学や就職の進路決定に大いに活かされています。

本校生徒の活躍がマスメディアで紹介される機会が増えています。和気町の「広報わけ」にも毎月掲載していただき、本校の様子を地元の方に発信しています。また、生徒は新聞各社の読者欄に熱心に投稿し、山陽新聞・朝日新聞を中心に複数の新聞に掲載されています。

本校ホームページでは、随時、いきいきとした生徒の活躍の様子をブログで紹介していますので、ぜひ一度ご覧ください。

○台湾国立屏東女子高級中學との対面交流

1/23(火)台湾の姉妹校、国立屏東女子高級中學から32名の生徒が来校し、5年ぶりに対面での交流会を行い異文化体験、料理交流、部活動交流等で親交を深めました。本校生徒も歓迎式の司会を中国語で行うなど心を込めたおもてなしで、お互い大いに盛り上がり、お互いに良い刺激をいただきました。



○令和5年度卒業証書授与式・同窓会入会式

3/1(金)に、令和5年度卒業証書授与式を挙行了しました。昨年同様、在校生、保護者の参加に加え、参加者全員による唱歌が復活し、盛大かつ厳粛な式典で卒業生の門出に華を添えました。

先立つ2/29(木)の同窓会入会式では、内山会長による歓迎のメッセージに続き、普通科49名、キャリア探求科26名、計75名の新入会員代表が入会の挨拶を行い、新たに同窓会員の仲間入りをしました。



○生徒の全国募集

令和7年度の全国募集では定員が見直され、普通科16人、キャリア探求科8人、計24人を受け入れることができるようになります。今春、北海道、東京などから6名の新入生を加え、現在は1年から3年まで19人の生徒が在籍しています。

令和7年春に寮の機能を持った町営の地域学習交流センターが開所予定となります。現在、男子は「金剛寮」に6名が、女子は「鵜飼谷温泉女子寮」に3名が生活しています。アクセスの良さ、地域探究活動を基盤とした教育に全国から注目が集まっています。

全国から和気閑谷高校を目指す生徒の身元引受人や下宿先を募集しています。「生徒の身元引受人になってもよい」「下宿を提供してもよい」と思われる方は、学校までお問い合わせください。



(問い合わせ先)

和気閑谷高校 教頭

TEL (0869) 93-1188

～地域での体験を経験に変える～「地域協働探究」での学び

酒巻孝治（支援職員・和気町地域おこし協力隊）、安東真美（指導教諭）

本校学校設定教科・科目「地域協働探究」は、令和5年度で完成年度を迎えました。この「地域協働探究（愛称「ちいたん」）」は、普通科協働探究系の2・3年生が全員履修し、長期の就業体験や地域貢献活動等を行いながら、地域理解・自己理解を深め、キャリア形成を行なう授業です。2年生は金曜日の1限から5限、3年生は水曜日の1限から6限に授業があり、このまとまった時間を利用して、地域に出かけ地域の大人たちと交流して多くのことを学んでいます。

この授業の軸となるのは就業体験です。本校の就業体験の特徴は、2年生から3年生にかけて3種類の異なる職場を体験することです。終日、少人数で地域の事業所に赴き、実際の業務を体験します（令和5年度の1期と2期（2年2学期）は3日間、3期（3年1学期）は7日間）。受け入れ事業所は、行政機関、製造業、建設業、医療施設、福祉施設、保育施設、飲食店、販売店、理美容院、宿泊施設、金融機関など、計59箇所と多岐にわたりました。本校ならではの3種類の就業体験では、必ずしも希望職種でない職業も経験することで、生徒それぞれが客観的な職業観を得るという成果がありました。就業体験の後には、体験を共有する振り返り活動を行ない、貴重な体験を言語化や文章化することにより確かな経験として根付かせ、積み上げていきます。

「ちいたん」では就業体験以外にも多様な活動があり、2年1学期には、近隣2市1町の事業所等を訪問しました。赤磐市、備前市、和気町のそれぞれ5つの事業所を8名程度の班で訪問しました。単なる職場見学にはせず、そこで働く大人と対話することに主眼を置き、人生観から職業観まで公私に亘る深いお話をじっくり聞くことができました。次に「Talk Folk Dance」を実施しました。これは地域の居住者を本校に招いて、生徒がフォークダンスの要領で相手を次々に変えながら対話するイベントです。10分ごとに相手が変わる都度、話題を「仕事の楽しみ」「仕事とお金」「都市と地方」などに入れ替えました。普段は触れ合う機会のない人同士の活発な対話は生徒にとっても、そして参加した大人にとっても大きな刺激になったようです。また、来訪者対応、会場設営からBGM選定、時間管理と司会進行などを生徒が分担し手作りのイベント運営を経験しました。

2年3学期には「卒業生聞き書き」を実施しま

した。2人1組で地域の卒業生の職場や自宅を訪問し、インタビューを実施、その録音から一字一句を文字に起こし、編集した作品を文集にする活動です。卒業生の実体験を書き起こし作業の中で何回もじっくり聞き込んで、その人生をより強く深く実感し、寄り添うという経験をしました。昭和30年代の卒業生から一昨年の卒業生まで老若男女、個性溢れる方々にご協力を賜りました。高校時代の思い出話から現在のお仕事のお話し、そして今の高校生に言っておきたいことまで、それぞれに個性的なお話をしていただきました。高校生への励ましのお言葉も多く、卒業生の方の後輩を想う暖かさを感じました。

3年2学期にはこれまでの活動の集大成として、地域への恩返しを目的に、グループに分かれて8つの地域プロジェクトに取り組みました。生徒自らが企画して地域の理解を取り付けながら推進し、それぞれが個性的なプロジェクトを展開しました。あくまで生徒の自主性とオリジナリティに委ねる方針を貫き、時に停滞し、後戻りしながら試行錯誤と紆余曲折を繰り返して一定の成果に辿り着きました。なかでも、和気駅前イルミネーション制作は、本荘まちづくり協議会の方と企画段階から協議を重ね、本荘小学校児童やボランティア生徒とも協力し、点灯式のイベント企画・運営、自分たちがデザインしたイルミネーションのアイデアの具現化をしていきました。当日はテレビ取材も入り、点灯式が盛大に行なわれました。

以上のような活動をとおり、協働探究系の1期生たちは、2年間の体験を自分の言葉で語り、多くの生徒が進路選択の際には自分の好き嫌いや得意苦手がわかり、自らの意思をはっきりと表明することができるようになりました。そのような姿は、数々の体験を自らの経験として定着させ自らの成長を確信したからこそ現れたものであると考えます。3年生になるまで進路目標が定まっていなかった生徒も、7日間の就業体験先で出会った職場の方の言葉で、進路を明確にできたケースもいくつかあります。人との出会いはその人の人生を変えます。地域の魅力ある大人に出会うことで地域の子どもの心豊かな育ち、地域への愛着を深めるとともに、自己肯定感を高めることにつながっています。わが校のこの特色ある授業が今後も継続・発展できるよう地域、同窓生の皆様に御理解御協力をお願いいたします。

・就業体験・



・聞き書き・



和気閑谷News

令和6年度
1学期
(4月～7月)

和気閑谷高校の今をお伝えするニュースレター

01 地域で学ぶ（閑谷学・地域協働探究・課題研究）

【1年生】フィールドワーク

近隣の施設を訪問し、
自分たちに身近な問いを探しました。



今年も始まりました！

【3年生】就業体験 多くの地域企業
で学び、生徒は大きく成長しました。



【2年生】事業所訪問

&トークフォークダンス

地域で活躍する方からお話を伺いました。
後日、ゲストを招いてトーク！！
運営も自分たちで行いました。



02 「高校版公営塾」本格開講！

和気閑谷高校生であれば、誰でも無料で通う
ことができます。自分の進路や夢を叶えるた
めに、活用しています。



03 年間ブロック計画&新入生歓迎スポーツ大会

ブロック団長決意表明

1年間を通して各行事の取り組みが点
数化され、ブロックで競い合います。
はじめに、各団長が決意表明をしまし
た。その後、1年生歓迎スポーツ大会
を行い（バレーボール、バスケット
ボール、卓球、スポッチャ）ブロック
や学年で交流しながら、それぞれの競
技を楽しみました。



和気閑谷News



Webサイト&ブログでも随時更新中

令和5年度
後期

和気閑谷高校の今をお伝えするニュースレター

01 2年生 修学旅行



記念艦「三笠」前



浅草寺で班別自主研修



憧れのシンデレラ城前

10月24日(火)から27日(金)の3泊4日で関東方面に修学旅行に行きました。初日は班別研修で、班ごとに計画を立てて浅草や原宿で楽しく過ごしました。2日目は3コースに分かれ、川越などでSDGs研修を行いました。3日目は、東京ディズニーリゾートを満喫し、4日目は横浜での研修後、無事に岡山に帰ってきました。

02 国際交流で深まる学び

☆姉妹校・台湾屏東と5年ぶりの対面交流

1月23日(火)、台湾の姉妹校:国立屏東女子高級中學から5年ぶりに32名の生徒が来校し、文化・料理・部活動等で交流しました。生徒は「英語への学習意欲が高まった。」「言語が違って通じあうことができ、嬉しかった。」と互いに良い刺激になりました。



☆国際理解講演会

11月28日(火)以前から親交があったウクライナ出身のリリヤ・バビィさんによる講演会を行いました。ウクライナについて理解を深め、講演会后、生徒が募金活動で集めた浄財を渡しました。



03 地域との連携・イベント

☆和気駅前イルミネーション 4年ぶり点灯式

今年で11回を迎える和気駅前イルミネーションの点灯式を4年ぶりに11月25日(土)に行いました。2ヶ月かけて本荘地区まちづくり協議会、本荘小児童と合同で制作しました。当日は本校生徒が司会やパフォーマンス、ハンドクリームの販売等を行い、イベントを盛り上げました。多くの人を繋ぐイベントとなりました。



☆探究学習発表会

12月19日(火)総合的な探究の時間「閑谷學」や「地域協働探究」の探究学習発表会を行いました。これまでの取組や学習成果を地域の方や後輩たちに伝えることができました。ここからさらに探究したいと思います。関わってくださったみなさま、ありがとうございました。



和気閑谷News



Webサイト&ブログでも随時更新中

祝

令和5年度
合格特集

和気閑谷高校の今をお伝えするニュースレター

進路実現につながる和気閑谷高校での学び

探究活動やボランティア活動などを通して、地域・社会を知り、人と出会う

やりたいこと、
なりたい自分を探り、
自信や思いを強くする

夢や目標を実現できる進路を選択し、
学習に取り組む

入学・採用試験で
自分の考えや取り組みをしっかりと
アピール！

自分の「やりたい」を実現！

総合型、学校推薦型で難関大学に合格！

推薦入試
に強い！

国公立
大学

高知大学 医学部看護学科〈学校推薦型〉並川 咲子（姫路市立白鷺中出身）

子どもの気持ちがわかる医学の知識を持った養護教諭を目指す！

- ・中学校の保健室の先生との出会いが原点！私もこんな先生になりたい
- ・県外からの入学で緊張もあったけど、どんな時も寄り添ってくれた先生たちのおかげで夢に近づけた
- ・地域での活動、校内外での発表の機会が自信になり、地域の方との交流が新しい気づきを与えてくれた
- ・校内でのAI教材を用いた補講・面接や小論文対策＋公営塾との連携で実力を伸ばし、進路実現！



島根大学 総合理工学部〈総合型選抜〉金谷 昌樹（磐梨中出身）

エネルギー分野の観点からヒトの生活を豊かにしたい！

- ・地元地域と協働した和気駅前イルミネーションプロジェクトの企画・運営に携わり大きく成長
- ・地域の専門家の協力を得て普通の実験を続け、探究を深めたことで大学での学びを明確にできた
- ・自分にあった大学・学部を探し、先生との面談の繰り返しで、自分の言葉で思いを語れるように成長
- ・苦手だったコミュニケーション。本校で挑戦させてくれた多くのことが自信となり合格を勝ち取った！



周南公立大学 経済経営学部〈総合型選抜〉友安 輝季（和気中出身）

和気高でプレゼン力を身に付けた！ 将来はスポーツメーカーに就職し商品開発をしたい！

- ・陸上競技部の活動をきっかけに「閑谷学」ではランニングシューズのマーケティングについて探究！
- ・閑谷学で探究するうち、経済についてもっと学びたいと思うようになり経済系学部を目指す
- ・地域の方々との協働や閑谷学の発表で自信がつき、「伝える力」を高めたことで、倍率7倍を突破
- ・自分がやりたい主体的な活動を応援してくれるのが和気閑谷高！



難関私立
大学

龍谷大学 文学部〈学校推薦型〉横林 直憲（磐梨中出身）

強みは冷静さとやり抜く信念の強さ 興味ある文学をもっと勉強したい！

- ・体験的な活動を通して、人前で話すことが苦手で自覚、得意を生かして学力重視型の受験を決意
- ・丁寧な少人数授業と質問しやすい環境を活かし、こつこつと継続することで基礎学力が定着
- ・「閑谷学」で大好きな作家「重松清」さんを探究してまとめた「重松愛」、これが受験の原動力に
- ・何年分もの過去の入試問題と向き合い、万全の対策をとったことで念願の龍谷大学に合格！



* 総合型、学校推薦型とも、高校の活動実績や目標達成の意欲・資質などを重視する選抜。総合型は特に大学側が求めている学生像に合っているかを重視。学校推薦型は高校長の推薦が必要。国公立大学の入試でも、一般方式でない総合型と学校推薦型の導入が年々進んでいます。

地元就職率56%!
(東備管内)

14年連続 就職内定 100%！ 公務員複数合格

和気町役場

生徒会活動で得た
「傾聴力」を活かし
町に貢献したい！



居樹 遼河（和気中出身）

和気町役場

授業・部活・資格取得
日々の地道な努力が
進路実現の原動力！



石野 運（佐伯中出身）

備前市役所

・全商検定1級
5種目取得！
・市役所の実習で
課題解決策を提案



小川 悠斗（三石中出身）

岡山県立和気閑谷高等学校 〒709-0422 岡山県和気郡和気町尺所15 TEL:0869-93-1188 FAX:0869-93-1010

旧職員・卒業生からのたより ※()は旧姓です

3年間の勤務後16年になります。10月になると閑谷学校の「萩葉」を思い出します。現在、地域の町内会やその他ボランティアで忙しくしています。旧職員 森本 明美

和気閑谷高校からの学院訪問が楽しみです。卒業生も当学院で頑張っています。

旧職員 旭川荘厚生専門学院勤務 加治 信正

東京大学史料編纂所共同研究員を6年続けています。成果を地元の歴史講座に生かしています。熱心な方が多いので頑張りたいです。旧職員 辰田 芳雄

現在95歳、100歳を目指して頑張っています。戦時中、河原を耕して食料生産、学徒動員で水島へ送りだしてもらった事、金剛川で泳いだ事、思い出の母校の存続と繁栄を願っています。S22卒 森下原 知子

山陽新聞等で閑谷の事が報じられると嬉しく誇らしく感じています。同窓会事務局の皆様、お世話して下さい有難う御座います。S31卒 森山 幸子(妹尾)

「オンリーワンの教育」赤畠先生の引用された言葉がよろしいですね。「ナンバーワンの教育でなく」という前置きも生きています。生徒諸君の頑張り、期待しています。

S34卒、旧職員 竹内 良雄

民生OB会、老人会のお手伝いはしていますが、コロナ以来、外出の機会が減ってきました。毎年行っていた岡山への帰省もなかなか足が遠くなり残念です。弟(赤磐市在住)から、ぶどう、桃、柿など美味しいフルーツが届き幸です。S36卒 栗原 昌子(近藤)

吉備中央町にある「おかやま希望学園」に勤めています。さまざまな理由で既存の学校に行きづらい児童・生徒たちが豊かな自然の中で寮生活を通して学び直しています。見失いかけた自分と夢・希望を取り戻そうと頑張っている子供たちにエールとご支援をお願いします。

S45卒 徳光 泰弘

令和5年9月2日に関東支部が発足して初の同窓会が25名で開催され参加させて頂きました。52年振りの再会もあり同郷の話などで楽しい会でした。次回の開催での再会と多くの同窓生の参加を楽しみにしています。(千葉県在住)

S46卒 正清 保

第1回の関東支部同窓会を昨年9月2日に行いました。皆様からの高い評価を頂き、今後は年1回の開催をといった声を数多く頂きました。同窓会の一層の繁栄を願ってこれからも頑張りますので、何卒宜しくお願い致します。(茨城県在住)

S47卒 理事 岡本 幸人

50年ぶりに受験して、ノートルダム清心女子大学で学んでいます。レポート、英語、パソコンに悩まされつつも頑張っています。2025年春の卒業を目指して充実の日々を送りたいです。S48卒 三谷原 りり子

3年生夏の甲子園予選、準々決勝まで行き、私の押し出し四球で大安寺に0対1で負けました。未だに夢に出てきます。その前の選抜甲子園大会につながる大会も準々決勝で惜敗でした。野球部の後輩達、甲子園目指して頑張ってください。S49卒 福原 一成

在学時、吹奏楽部でホルンと出会って51年、卒業後も吹奏楽とオーケストラでホルンを吹いていましたが、退職してからホルン三昧。吹奏楽団と2つのオーケストラでホルンを吹いています。多い時は週5日練習があります。また、小学生の金管バンドも指導しています。吹けなくなるまで頑張りたいです。S50卒 谷口 満智子(竹内)

関東に住んで40年、薬剤師の仕事を続けています。趣味のピアノを毎日弾いていますが、「エーゲ海の真珠」を弾いて居ると、高一の体育祭の時の「マスゲーム」を思い出します。この美しい曲に出会えた瞬間でした。

S51卒 福島 照子(柴原)

和気閑谷高校を卒業後、42年間勤務した会社を60歳で定年退職し、今は悠々自適に過ごしています。昨年9月2日、東京での同窓会にも出席させて頂きました。有難う御座いました。(都内在住)

S52卒 遠藤 靖

昨年の夏、高校野球を観ていて遠い昔を思い出しました。私が高三の時、地区大会の応援に行ったこと。その時惜しくも甲子園への切符は逃したけど、あの日のことは懐かしいです。いつの日か母校が甲子園に行けたらいいですね。

S52卒 小野 令子(藤原)

和気町北山方の秋祭りで「獅子舞」をしています。担い手不足で苦勞しています。

S53卒 高阪 尚司

和気閑谷高等学校が令和6年度入学から普通科を全県学区とすることは大変良いことであると感じます。益々の発展をお祈り致します。

S53卒 宮慶 美恵子(西山)

36年勤務した役場を退職し現在は4人の孫がいます。孫には時々しか会えませんが、毎日の様子が見られるネット社会に感謝です。孫の成長に主人と大喜びしながら過ごしています。

S53卒 村瀬 智子

昨年5月に母が脳梗塞で岡山市の病院に入院し、和気町の平病院に転院してから、毎週面会に電車で通う日々です。窓から懐かしい景色や建物を見ながら和気駅から徒歩で病院に向かうと高校時代の先生方、先輩、後輩、友人を思い出し、青春時代に戻った気持ちになり、心の「ふるさと」はいつまでもありがたい宝物です。

S54卒 森本 さち子(吉房)

縁あって愛媛県八幡浜に住むことになりました。週5日ほど自宅や店舗で筋トレに励み、自分の体力の衰えを防ぐため介護予防体操及びイベントに参加し指導。また、視覚障害のある方のために広報誌の朗読、録音のボランティアや、精神保健に関するボランティア等忙しい日々を送っています。

S59卒 松本 清江(河崎)

会報の中の「和気閑谷News」が楽しみです。これからも、皆様のご活躍に期待しています。

S60卒 岩藤 美佐(雪吉)

全国募集に続き、全県学区への変更、まだまだ厳しい状況が続きますが、特色ある「かよってみたい学校」を目指して頑張ってください。

S61卒 田代 雄一

お久しぶりです。貴校で受けた活気ある授業、活動、そして「信・勤・儉」の心。良き思い出を生かし頑張っています。誇りです。応援しています。

H29卒 森下 朋美

令和6年度同窓会総会のご案内

毎年恒例の同窓会総会を右記の要領で開催します。

会員はどなたでも参加できます。卒業年を超えて参加して思い出や現在・未来と一緒に語りましょう。参加を希望される方は同封のハガキでお申し込みください。

申し込みが会場の収容人数を超えた場合は申し訳ありませんが、先着順とさせていただきます。

*今回は昭和57年3月卒業生（昭和38年4月～昭和39年3月生まれ）が当番幹事団となります。代表幹事から依頼のあった方々はご協力をお願いします。

日時：令和6年10月20日（日）

11：00～12：00 総会（10：30～受付）

総会終了後写真撮影～懇親会

2時間半程度

会場：ピュアリティ まきび

（岡山市北区下石井2-6-41）

TEL 086-232-0511

会費：5,000円（当日集金します）

（問合せ先）岡山県立和気閑谷高等学校

同窓会事務局 担当：赤畠真一

TEL(0869) 93-1188

せき さい
秋 菜

10月26日（土）

10：00～

閑谷学校大成殿において、孔子の徳を称える儀式「秋菜」が行われます。

大成殿の儀に続き、講堂の儀もあります。参加費2,500円（昼食代含む）で一般公募をしています。お申込みは財団法人特別史跡旧閑谷学校顕彰保存会事務局または史跡受付へ。

〒705-0036 岡山県備前市閑谷784

事務局（0869）67-9900

史跡受付（0869）67-1436

【昭和41年卒 普通科同窓会の案内】

喜寿を皆で祝いましょう。ふるってご参加を！

日時：令和6年11月14日（木）

午後1時～4時

場所：ピュアリティ まきび

（岡山市北区下石井2-6-41）

会費：1万円（同所で二次会：別途2千円）

問い合わせ先：伊賀安文（090-8718-6917）



喜寿

年会費・任意寄付

ありがとうございました。

令和5年度分 納入者一覧

(5年4月～6年3月)

(単位:千円)

〈旧職員〉	大平 恵子 1	太田 寛子 2
赤木 孝次 1	岡田 一子 5	木崎 宏 1
井上 進夫 5	田尻 和子 10	杉原 昇 1
岡 千代也 2	延藤 久枝 2	竹並 弘子 1
加藤 廣 1	藤原 活子 3	津田 忠彦 11
河合 成康 1	吉崎 康子 10	利根川 宏子 1
香山 真一 11		中野 順夫 2
小坂 博通 2	S24 ———	南角 英興 2
笈本 弘忠 3	稲田 晃 3	野崎 喜美子 1
宮 名 3	河井 節子 1	平田 晋三郎 6
内藤 靖章 3	龍崎 英子 6	松川 和明 2
中桐 哲則 3		三宅 誠 1
羽原 照夫 2	S25 ———	
福渡 直躬 1	宇垣 成子 3	S28 ———
藤田 真理 6	内田 信好 2	岡 靖人 1
藤原 靖子 1	岸木 仁 6	川西 正廣 1
古川 治 5	清水 猛 10	末廣 次男 1
美松 公雄 11	高田 淳子 2	須波 忠夫 11
守時 輝明 1	野津 貴 5	武元 正好 5
森本 明美 5	橋本多美枝 1	丹 敬子 1
山本 高 3	森本 巧 2	寺澤 秀子 3
和田 誠也 2		西澤 定律 1
	S26 ———	丸山建太郎 3
S18 ———	石原 英弘 3	森本 明治 2
石原 紀子 1	土村 昌司 3	
	浦上 至 3	S29 ———
S19 ———	浦上 昭一 3	射矢 頌子 1
湯浅 吉江 1	金谷 初恵 2	浦上 栄子 3
	河島 隆男 1	遠藤 樹子 1
S20 ———	黒沢 一美 1	太田 光子 1
金光 彰三 11	高取 正一 1	大森 経徳 11
田中 義一 11	平井 昭信 3	岡 登美子 1
	村木 節子 1	皿井 淳雄 5
S22 ———	山本 昇 6	恒次 利幸 3
青木 享子 1	薬科 逸雄 11	野道津多子 2
藤田 栄 1		藤原 節 1
森下原知子 3	S27 ———	和気 清子 1
	麻植 博子 1	
S23 ———	射矢 諒一 2	S30 ———
内田伊登子 2	内田 昌子 1	安東 保 1

植木 弘子 2	S33 ———	片山 堪子 1	藤井 洋一 2
大徳 常美 2	岩井八重子 2	片山 昌子 1	松島 孝利 2
小野陽一郎 2	鶴川 佳永 1	岸本富佐子 1	安本 昭信 2
柏谷 鈴子 1	大田原啓介 3	木村 直 5	
神崎 信義 2	岡田瑞美子 1	国塩紀久子 1	S39 ———
小林 信子 2	梶原 俊孝 5	栗原 昌子 5	安藤 節子 5
佐藤 元樹 3	北川 貝正 1	國光 文夫 1	池上 繁子 1
實平千代子 2	佐々木邦子 4	小橋 正義 4	岡崎 英三 21
下村 脩 4	瀧川 重香 1	近藤 登一 3	片山田鶴子 3
下村 久榮 1	武元 弘之 6	坂本 堅志 1	小坂 善三 10
武元美和子 1	西川 好子 1	塩見 賢吾 1	齊藤 照美 3
蔵森佐智子 1	萩原 幹生 3	柴原東洋彦 1	実盛 康之 5
島越 守 3	政田 昭子 2	竹井 和子 1	高見三千子 1
畑岡 孝男 1	安井 茂子 6	恒次 孝 3	武内 泰典 3
早瀬 福 5	安本 哲也 1	顧宮 洋子 2	西岡 幸子 1
藤原 順子 3		春名 端子 1	浜田 光枝 1
三笠 享子 2	S34 ———	日下 一功 1	横山 洋子 3
矢野 清美 11	泉 和男 5	細谷 緑 1	湧田 幸雄 1
	今脇 育子 2	森下知代子 5	渡辺久美子 3
S31 ———	遠藤紀代子 6	吉田 繁子 1	
池 芳昭 3	小田 祝江 3	吉延 重信 3	S40 ———
生駒 公子 11	川崎 一興 2		麻植 栄一 1
岩田 薫 10	竹内 良雄 2	S37 ———	石橋 隆昌 1
金光 宜三 1	新田 眞司 4	入矢 孟行 1	入矢 初子 1
木原 美鈴 3	森原 誠行 1	大森 克彦 1	太田佐和子 1
戸田 桂子 2	藤木 悦子 1	小倉 尚子 1	小坂田百合子 3
中村 晃 2	古和 悦子 5	小野田和義 3	小野 啓子 10
橋本 重昭 2		景山 勝夫 3	川口由美子 3
原 桂一 2	S35 ———	川口 貢正 1	國光恵美子 1
森山 幸子 1	伊賀 正孝 3	神崎 進 1	坂田 菊美 2
安井五十鈴 1	池上貴久雄 1	高西 照子 1	高島 正男 1
山本 律子 1	上林 徳治 2	小西 陽一 3	本田 悦子 31
	大岩 天子 11	田中 弘子 1	目賀 紀子 1
S32 ———	大畠 允子 6	長瀬 千歳 1	和気 晴信 4
伊永 忠範 3	亀川 博子 1	野崎 省子 2	
大川 文恵 1	川合 葵子 5	藤井 昭夫 11	S41 ———
太田多美子 4	久崎 国征 5	真殿 正次 10	青木 孝子 3
岡本 弘子 1	清水智津子 1	森川 幹彦 1	浅原美津江 1
金森 孝二 1	坪井 迪郎 3	山田 昭義 2	伊澤 孝二 2
柴田 健治 3	寺角 都 1		石井 史子 3
角南 勝弘 3	西本 照子 1	S38 ———	内山 一美 3
須波 淳人 2	久安 吉子 2	岡本 美晴 1	大坂 浩二 2
永宗 弘之 1		金光 寛 3	大田原晴久 2
三宅 典子 1	S36 ———	鈴木八重子 2	岡本 幸子 2
横山美代子 1	赤松 章二 2	高原 逸子 2	小野田正広 3
	有吉 時男 2	内藤 廣章 3	神本 富子 6
	岡本 弘子 1	日笠 絃 6	河相 恵良 4

岸田 孝子 11	松原 潤子 3	藤澤 静江 1	林田 一成 3	廣石江身子 1	S58	H 6
児嶋 久子 3	守谷 徹 1	藤原 明文 2	福島 俊美 1	松原 麗子 1	国重 朝美 1	神本 昇 1
澤田 勇 3	和田 敬子 1	正清 保 5	福原 一成 4	溝辺 直樹 2	中村 修作 3	砂子美智代 1
高橋 隆一 11		宮岡 光利 10	藤本 敏弘 3	宮慶美恵子 2		中永 満子 1
恒次 和男 1	S44	武藤 幹夫 3	松田 昌樹 1	向井 重明 3	S59	
徳永 深二 5	井上 純子 2	宗久 宏 6	横林 光司 10	村瀬 智子 2	下山 剛史 3	H17
中嶋 徳美 2	内田 譲 4	安川 律子 3			砂場 慶子 1	上浦智容子 2
中島 智子 2	國友 勝美 1	横谷 和子 1	S50	S54	難波 浩明 1	
仲原 純一 1	鈴木三重子 1	横山 茂樹 2	神崎 雅光 2	赤畠 真一 2	吉田 信子 1	H18
中原千恵子 2	角南 守正 3		神崎 恵策 3	秋山 恭子 1		大田原基敬 1
新田 仁美 4	橋 広美 1	S47	篠埜 智子 3	有元 康裕 2	S60	中村 由佳 1
畠中 俊明 5	中家 茂博 3	家野 充枝 1	谷口満智子 10	今井田敏安 1	岩藤 美佐 2	
服部 初子 1	日下 健三 3	内田 太 3	西野 保久 6	北川 昌昭 1	平野 昌美 1	H21
久次 準二 2	藤原みえ子 6	岡崎 武夫 1	吉川真美子 1	木南 春樹 1		石原 悠太 1
藤原 弘子 1	待場れい子 2	岡本 幸人 30		國貞 克則 1	S61	
藤原 義昌 3	松本 博子 2	幸坂 輝久 11	S51	瀧 信子 1	煥硝岩哲郎 3	H29
細田 邦子 1	三宅 典子 2	高取 隆昌 1	片岡 啓吾 2	駄育 美鈴 10	景山 泰吉 3	万波 真人 1
三原 千幸 5	吉川 隆 10	原 朗 1	岸本雄一郎 1	南部 正明 5	國本 直宏 2	
山本日出男 6	吉房 順治 5	藤原 暢人 1	木村 佳代 3	丸尾美代子 2	小島 恵 2	H31
山本真澄 6	若林 章 3	船井 悦子 1	坪井 恭紀 6	三村 元秀 3	田代 雄一 3	万波 優人 1
山本 泰正 1			西角 光弘 6	吉岡 弘二 1		
	S45	S48	西山 繁夫 1		S62	R 4
S42	荒嶋弥寿夫 5	今田 欣一 3	新田 正純 11	S55	室井 薫 2	岩本 悠斗 1
小川 三郎 2	石井 文敏 4	小坂 仁志 3	樋口 一平 1.89	赤井 重仁 1		福原 悠 1
長田 和代 5	石野 香里 3	柴原 靖彦 4	萬代 英二 1	荒島 基 11	S63	
高加 國夫 2	岡本知加子 2	徳永 旭生 2	万代 茂敏 1	岡田 公彦 1	國本 里美 2	R 5
小林千恵子 2	柿本 純子 1	中川徳一郎 2	山田 直樹 1	岡本 栄二 1	頼宮 美紀 2	宮本 侑依 1
近藤 孝 2	北川久美子 3	南部 陽子 6		藤田 哲和 3	中村 成美 1	
下井 常司 2	木下保都美 1	沼本 典子 3	S52	松原 雅之 11	矢本 健勝 2	
高尾 行雄 3	國友 堅 5	延藤 安茂 5	熱田 龍二 3			令和5年度合計
中山ひとみ 3	小宮山尚理 2	延藤 隆三 6	伊藤 整 1	S56	H 1	年会費 502名
藤原 秀彦 11	竹之内正行 3	三谷原るり子 5	内山 輝之 2	大峠 一吉 3	井上 柁彦 2	50万6千円
山本 路恵 1	戸川 恭子 6	山本 美 1	小野 令子 1	大森 径代 3	大森 一廣 2	任意寄付
	徳光 泰弘 5	吉本 早苗 6	影山 望 1	小川 睦美 1	恒次 晋司 1	101万1千890円
S43	村上 輝行 5		小林 典孝 10	河原 幸一 2	八部 縁 2	
生本 悦子 1	山本 繁夫 5	S49	角南 整司 5	塩見えい子 2		
梅原 俊子 4		赤木 年 3	竹内 基 3	平 晴美 1	H 2	
太田由里子 10	S46	荒内 保裕 2	匿名希望 3	林 徹清 4	横田 圭司 1	
藍崎 明子 3	荒内 晃 3	石原 健夫 1	西上 祐子 1			
國友 操 3	小笠原順子 1	内山 登 1	平井 典子 1	S57	H 4	
國友 道一 3	角屋 純子 1	小林 睦 4	藤原 茂洋 2	青山 幸夫 1	小林 弘典 1	
杉山 隆一 1	菅原 祥代 5	佐藤 鈴枝 2	森定 宏之 6	岸本 美加 11	能勢 宣昭 1	
瀬戸山久木 3	西山 民子 3	栄戸 典子 3		黒澤 朋子 1	森田 竜次 2	
時信 匡宏 1	馬場 雄二 1	新後 雅弘 3	S53	高畑 義孝 3		
永島 英夫 3	浜田 照正 1	西中 純一 1	川西 睦弥 3	恒次 都子 1	H 5	
馬場 清子 6	浜田 洋子 1	野上 雅博 1	柴田 崇子 2	萩原 潤彦 3	草加 清二 11	
藤井 陽一 1	広瀬 洋子 1	馬場 雅夫 1	林 恵子 2	山下 雅史 2		

令和5年度同窓会総会

令和5年度同窓会総会・懇親会が、現旧職員・卒業生計41名参加のもと開催されました。

コロナウイルス感染症も一応落ち着き、予定通りに開催することができました。今年度は昭和56年3月の卒業生7名に当番幹事を務めていただきました。ご協力ありがとうございました。

懇親会では各テーブルから懐かしい話や近況報

告をいただき、和気閑谷高校の未来に思いを馳せました。

最後に閑谷中学・和気高女・和気閑谷高校の校歌を歌い、母校の益々の発展を祈りました。

次回幹事である昭和57年3月卒業生へ引き継ぎ、またの再会を約束して閉会となりました。



令和5年10月22日(日) ピュアリティ まきび

★同窓会役員一覧

会 長 (1)		副会長 (3)		監 事 (2)	
内 山 登 (S49)		延 藤 安 茂 (S48)		和 田 敬 子 (S43)	
		横 林 光 司 (S49)		吉 房 順 治 (S44)	
		徳 永 夕 子 (H4)			
理 事 (10)			校内理事 (6)		
高 橋 隆 一 (S41)	藤 原 秀 彦 (S42)	赤 松 一 樹 (校長)	服 部 功 (教頭)		
古 川 美 保 (S42)	國 友 道 一 (S43)	三 宅 章 仁 (事務長)	和 氣 徹 (S55)		
松 嶋 孝 則 (S43)	守 井 秀 龍 (S44)	頓 宮 美 紀 (S63)			
岡 本 幸 人 (S47)	内 田 太 (S47)	《事務局》			
森 定 宏 之 (S52)	萩 原 潤 彦 (S57)	赤 島 真 一 (S54)			
会計担当 (1)		藤 原 義 昌 (S41)			

編集後記

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、しのぎやすい季節となるのは、しばらく先になりそうです。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

さて、本年度は、「恕」の心を意識した高校生活を送ろう! というスローガンのもと生徒は勉学に部活動、委員会活動に励んでいます。「己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ」という恕の精神は、生徒はもちろん我々大人も一生持ち続けたいものです。

また、2学期は3年生の就職希望者の選考試験もスタートし、進学に向けての試験も本格化します。また学校行事としては檜楓祭文化の部、体育の部と続き、2年生の修学旅行も実施されます。

ところで全国募集が始まり数年が経過しました。本年度は、三学年全体で十九名が在籍しています。令和4年4月からは記念会館三階に男子生徒8名が収容できる金剛寮が完成しました。また、来春には寮の機能を持った和気町営の地域学習交流センター(仮称)が和気鶴飼谷温泉内の敷地に開所する予定です。

閑谷精神の継承を全国から集まった友と共に進め本校教育のさらなる展開を期待しています。

(赤島 記)